

教員の報奨制度について（研究・産学官連携関係）**概 要**

本学教員の研究及び産学官連携活動に関し、全学の研究の活性化と財務上の貢献が特に顕著な教員に対して、総長表彰の副賞として報奨金を授与するものである。

■背 景

全教職員の業績の集積が大学の業績に繋がるものであり、九州大学の飛躍的發展のために、教職員の業績評価とそれに基づくインセンティブの付与が望まれている。

■内 容

本学の教員のうち、当該年度において、次の何れかに該当する外部資金の獲得実績等が特に顕著な者を対象とし、報奨金を授与する。ただし、対象者が人文・社会科学系の場合は、第1号から第7号に定める獲得額の2分の1以上に相当する額をもって対象とする。

- (1) 科学研究費補助金等を1億円以上獲得した者
- (2) 受託研究費を1億円以上受入れた者
- (3) 科学研究費補助金等を3千万円以上獲得した者
- (4) 受託研究費を3千万円以上受入れた者
- (5) 共同研究費を3千万円以上受入れた者
- (6) 科学研究費補助金等、受託研究費及び共同研究費の獲得合計額が1億円以上となる者
- (7) 科学研究費補助金等、受託研究費及び共同研究費の獲得合計額が3千万円以上となる者
- (8) その他研究及び産学官連携活動に関し、全学の研究の活性化と財務上の貢献が特に顕著であると認められる者

報奨金の額は、上記(1)(2)(6)の該当者には、50万円、(3)(4)(5)(7)の該当者には、15万円、(8)の該当者には、50万円又は15万円とする。

実施時期は、平成19年4月1日を予定している。

■効 果

報奨制度の導入により、本学教員の研究及び産学官連携活動に関し、全学の研究の活性化と財務上の貢献が特に顕著な教員に対してインセンティブを付与することができ、今後の研究の活性化と産学官連携活動を推進すると共に、競争的研究資金及び外部資金獲得の増加を図る。

■今後の展開

この制度の対象は、当面、研究及び産学官連携活動を対象としているが、今後、全教職員を対象とした業務貢献者に対してインセンティブを付与することについて、検討する。

【お問い合わせ】

企画部研究戦略課 課長補佐 上村 基生

電話：092-642-7073

FAX：092-642-4363

Mail：mot-kamimura@jimu.kyushu-u.ac.jp

教員の報奨制度について（ベストティーチャー賞）

概要

九州大学では、全学教育科目の授業において、他の教員の模範となる授業の実践、優れた教科書や教材の作成・提供、教育改善への貢献及び全学教育の実施・運営に顕著な功労があった教員を表彰し、本学の教育目標達成並びに教育の質の向上・改善を図ります。

背景

本学では、従来から学生による授業評価や教員による自己点検評価を行ってきておりますが、それらの結果を共有したり、他の教員の模範となる授業を実践された教員を高く評価・顕彰する場がありませんでした。

また、一方では、平成14年の中央教育審議会答申（「新しい時代における教養教育の在り方について」）において、教養教育の重視が叫ばれ、その再建が強く求められるなど、近年、教養教育の重要性が再認識されてきています。このような状況下において、教養教育を意義のあるものとして真にその充実と質の向上を図るためには、全学教育の実施責任体制を整備することと併せて、熱意と情熱を持って真摯に教育にとりくんでいる教員を高く評価し、顕彰することが何よりも必要であるという全学の総意を得ました。

内容

表彰の種類は、「全学教育優秀授業賞」と「全学教育功労賞」の2種類となっております。

「全学教育優秀授業賞」は、全学教育科目において優れた授業を実践したと認められた教員を10名程度表彰するもので、教員及び学生からの推薦により、毎学期、選考委員会において選考することとしております。

「全学教育功労賞」は、①優れた教科書を著した教員、②優れた教材を作成・提供し、教育改善に貢献があった教員又は③全学教育の実施運営に顕著な功労があった教員を、合わせて5名程度表彰するものです。優れた教科書を著した教員及び優れた教材の作成・提供した教員にあっては、教員からの推薦により、全学教育の実施運営に顕著な功労があった教員にあっては、全学教育専門委員会委員からの推薦により、年度毎に選考委員会において選考することとしております。

選考結果は、選考委員会の委員長が総長へ報告し、総長が表彰候補者を決定します。

被表彰者には、開学記念日に表彰状を授与するとともに、報奨金として15万円を支給することとしています。

効果

他の教員の模範となる教員を表彰することによって、本学の教育目標達成並びに教育の質の向上及び改善を図ることを目的としております。

また、表彰の対象となった活動内容については、被表彰者から授業参観、使用された教科書・教材の提供、九州大学教育情報等への寄稿、全学FD等の研修会における講演等への協力を得て、本学の教育活動に活用することにしております。

今後の展開

表彰された優れた教育活動の事例を集積し、これらを教員間で共有しながら活用することは、本学教員全員が全学教育を理解する契機となり、全学教育全体の質の大いなる向上に結びつくものと期待されます。

【お問い合わせ】

高等教育開発推進センター教授 淵田 吉男

電話：092-726-4544

FAX：092-726-4530

Mail：futchita@rche.kyushu-u.ac.jp